

## 令和6年度第2回 富秋中学校区等まちづくり検討会議 議事概要

1. 日 時：令和6年10月21日（月）19：00～

2. 場所：和泉市 人権文化センター1階 大会議室

3. 出席者：委員 18人  
和泉市職員 20人  
コンサルタント 2人

### 4. 議事次第

（1）開会のあいさつ

（2）議題案件【資料番号1】

① 事業範囲等の見直しについて

② 要求水準の主な変更点について

③ 今後のスケジュール（案）について

（3）その他【資料番号2】【資料番号3】【資料番号4】

（4）閉会

### 5. 議事概要

※以下、特記無き場合委員の発言

#### ■開会のあいさつ

○会長挨拶

#### ■議題案件【資料番号1】

○市から次の（1）～（3）について説明（資料番号1）

（1）事業範囲等の見直しについて

（2）要求水準の主な変更点について

（3）今後のスケジュール（案）について

○質疑応答

・入札した業者数について、教えていただきたい。

⇒（市）参加表明は、1グループであったが、最終的に入札に参加された事業者については、  
応札がなかったことにより入札中止としたため、0者になる。

- ・次もまた入札に参加する者が0となることはないか。今回の参加表明は1グループであったが、次はどれくらい参加してもらえるか。

⇒（市）市としては、事業者へのヒアリングの結果を踏まえ、できる限り入札参加者が増えるように検討を行った結果を本日説明した。再入札公告に向けた条件を検討するに当たって、参加表明のあった1グループだけでなく、参加表明に至らなかったものの事業に関心を示していた複数社に意見聴取しており、再入札公告に当たっては複数の応札を期待している。

- ・事業着手が令和7年10月となっているが、契約をしてから準備に入るのか、契約前から準備に入るのか、事業進捗上問題がないのか（遅延しないか）について気になるところである。

⇒（市）仮契約締結後、市議会（9月）の議決を経て本契約締結となるため、事業の正式な着手は10月からとなります。事業期間は、事業者の提案によりますが、市の想定スケジュール上は、お示ししているとおりの期間で完了する想定です。

- ・スケジュールの中の、（仮称）新旭公園の整備が2年程ずれていると思われるが、何故公園だけがこんなにずれているのか。既存の市営住宅の解体撤去を待たなければ（仮称）新旭公園の整備が難しいとは理解できるが、2期事業内に収めることはできないのか。

⇒（市）（仮称）新旭公園については、市営住宅の解体を行った後に整備着手となるため、3期以降の解体業務を別途発注とすることにより、入札等の事務期間が長くなることを考慮したスケジュールで記載している。

- ・条件変更は致し方ないとしても、総合的なまちづくりの観点からは、当初構想の理想からはずれてきているように感じる。富秋学園プロジェクトとの連動や、余剰地活用も含めたPFI導入にならなかったり、低層住宅が高層になったり等あるため、和泉市庁内での縦割りが発生しているのではないかと危惧している。

- ・検討会議で議論されていないことを勝手に決められた印象があり、（仮称）多世代交流拠点施設の要求水準等に関して、混乱を来している面があると認識している。市役所側の都合だけで変更されることで、これまで検討会議で検討してきたことが無視される・無駄になることがないようにプロセスにご配慮いただきたい。

⇒（市）ご懸念の庁内での縦割りが生じることがないように、引き続き、富秋中学校区まちづくり担当で調整させていただく。また、事業条件の調整に当たっては、今後も検討会議にお諮りしながら、進めていきたい。変更内容の周知についても検討会議の内容を踏まえ、引き続き進めていきたいので、協力をお願いしたい。

⇒（事務局長）条件の変更は止む得ない点もあると思うが、一方で各委員は地元を代表される立場でもあり、地元住民に伝えた際に「本当に当初構想の目的・目標は達成できるのか。」といった疑心暗鬼になっている印象を受ける。今回応札がなかったのも、条件を変更したということだが、再度の入札中止となると地元への説明が各委員の立場としても難しくなってくる。しっかりと事業を進めるようお願いしたい。

- ・市営住宅の別途事業での解体とされているが、今後のまちづくりとしては、市営住宅の解体後はどのような土地利用がされていくのか、重要であるとする。市として、どのように考えているのか、教えてほしい。

⇒（市）別途事業とした解体時期については、DB 事業終了後、約 5 年間の 2032 年度から 2036 年度までに解体を進めていく予定である。跡地活用の方角性については、現在、市で「跡地活用ビジョン会議」を開催し、検討を進めているところであり、この検討会議を通じて、住民の皆様の御意見も伺いながら検討を進めていきたい。

- ・市民体育館建替えに伴い、アリーナ構想等の話があったと認識しているが、検討状況を教えてほしい。

⇒（市）北部総合福社会館の一団の敷地を、市民体育館建替候補地として検討を進めている。どの程度の規模となるか等については、アリーナ構想等も含めて、担当部局において検討を進めているところである。別途事業とした市営住宅の解体は、2036 年度までを想定しているため、体育館整備は、これ以降を想定している。

- ・人権文化センターの市民文化ホールの解体が行われる可能性があると同っているが、この点について、説明をお願いしたい。

⇒（市）人権文化センターの市民文化ホールの解体については、現在、本市議会にて解体工事に関する議案について審議いただいているところであるが、議案が承認いただければ、本年 11 月から来年 10 月にかけて解体工事を進めていくことになり、周辺住民の皆様にも説明しながら進めていく予定である。なお、市民文化ホールの解体期間中も人権文化センターの他の業務は、通常どおり実施する予定である。

- ・11 月 24 日に市民説明会と記載がされているが、実施するのか。

⇒（市）市民説明会については、記載のとおり実施する。

## ■その他【資料番号 2】【資料番号 3】【資料番号 4】

○市から説明（資料番号 2）

○質疑応答

- ・跡地活用ビジョンについては、案は市で作成されると以前の検討会議で説明があったが、市のビジョン会議だけで決定されるのではなく、地域と協議し、策定していくという理解でよい。

⇒（市）市において、ビジョン（案）を作成し、これを検討会議の場で対話を行っていききたいと考えている。その節は、よろしくお願いしたい。

○市から説明（資料番号3、資料番号4）

○質疑応答

- ・市営住宅の工事の期間と（仮称）富秋学園の工事の期間が重複する時期に、踏切が通れない時期が生じたりするなど、通学路が不便になったり、安全性に支障が出ないか懸念している。工事車両動線等についての精査をお願いしたい。

⇒（市）（仮称）富秋学園の工事と市営住宅の工事の期間が重複する時期もあるかと思うが、通学路としては市営住宅の工事期間についても第一団地前の踏切を渡ることを想定している。登下校時の安全対策については、状況を確認しながら適宜必要な安全対策を検討していく。

- ・保護者が標準服とはどのようなもののかの想像がついていない状態で、アンケートの選択も複雑であったので、次回アンケートをするときは、「標準服」の参考事例を付けていただき、保護者に分かりやすく、参考になるアンケートにしてほしい。

- ・標準服登校について、アンケートの保護者回答率が30%未満ということから、どこまで保護者の意見が反映されるのか。

⇒（市）次回以降のアンケートの際に対応させていただく。アンケート結果については、回答率が低く、標準服の想像がついていなかった、ということを踏まえた上で、今回の自由服登校のアンケート結果を参考とさせていただく。

- ・自由服登校が実施されることを開始直前に知った。学校が主体で実施するものも教育委員会 で把握した時点で、開校準備委員会メンバーにも情報提供をいただけるようお願いしたい。

⇒（市）自由服登校については、事前の情報共有が出来ておらず申し訳なかった。今後は事前に情報提供するようにする。

- ・各学校の記念碑を（仮称）富秋学園へ持ち込むというような話が出ているのか否かを知りたい。

- ・四季を感じられる樹木の選定について、維持管理・清掃のことも考えて選定してほしい。具体的にはメタセコイア等は、台風が来た時には後処理が大変であったりする。樹木選定関係ではご配慮いただきたい。

- ・今あるクスノキをどのようにするのか、気になっている。

⇒（市）富秋中学校にはバスケットボール部が全国大会に行った際の記念碑があることは把握しているが、幸小学校、池上小学校の記念碑については現在把握できていない。今後設計をしていく中で移設するしないに関しても検討していく。樹木選定については、学校側の要望を踏まえ低木の選定を中心とする等、維持管理に配慮していく。クスノキに関しては記念樹ではないとのことなので撤去予定である。

- ・現富秋中学校は開校当初から開かれた学校を目指し、金網ネットで中が見えるようにしてき

たと聞いている。門を全部開放し、住民が通れるような時期もあったが、池田市の事件を受け通行開放までは出来なくなった。今回の開校に向け、開かれた学校を目指し、金網が使用されると思うが、金網は補修も大変ではある。補修に関して PTA やボランティアの方、教職員で対応してきている実態がある。金網で中が見えすぎることもセキュリティ面から良し悪しもあると思うが、どのように考えているか。

⇒（市）ブロック塀は高槻の事故以降、撤去しており、新校についてもメッシュのフェンスを計画している。セキュリティに関しては、池田市の事件後、電気錠や監視カメラ付きのインターフォンを設置しており、新校についても同様に計画している。

⇒（事務局長）開かれた学校については、開校準備委員会など地域でも連携しながら継続して意見交換・取組を進めていく必要がある。

■閉会

以上